

風富窯(かぜと)

江別のれんが土に惚れ込み移住。 陶芸作家の使うほどに育つ器

「北海道の土は器には向かない」。森トシヒトさんはそんな「常識」にあえて挑む作家の一人。江別のれんが土を用い、信楽の土を少量混ぜ合わせることで、高温に弱いというれんが土の弱点をカバー。この土ならではのザラツとした質感・素朴感を生かした、粉引の器を作っています。粉引の特徴である化粧土を流す時の動き一つで表情が変わるので、ふたつと同じ物ではできないのだそう。「使い込むほどに味の出る器です」と森さんは言います。



脱サラし94年に厚田村(現石狩市)にて夫婦二人で開窯。96年江別に移り住む。写真上はれんが土粉引盛鉢4,000円

風富窯

〒江別市大麻東町15-11(シリカマテリアル内) ☎011・386・0181
☎困要問合せ ※ギャラリー見学の際はお問合せを
🌐<http://kazetogama.web.fc2.com>



■展示会「北海道焼の確立へ 凍土会の挑戦」

会場 江別市セラミックアートセンター 開催中～7月18日
開9:30～17:00(入館16:30まで)